

## 平成28 年度 第2回学校協議会 議事録

開催日時：平成28年10月5日（水） 15：00～16：30

委員：浦田氏（大阪工業大学）、関元氏（西野田工友会会長）

松本氏（野田阪神本通商店会会長）、矢野氏（株式会社大成C I 代表取締役）

山下氏（PTA 会長）、吉兼氏（元PTA副会長）

内 容：【学校協議会】

### 1. 開会 学校長挨拶

来週より後期が始まりますが、後期の主な行事は、文化祭や修学旅行などが実施されます。今年度の修学旅行は、10月末に沖縄に行くことになっています。

今回の協議会は、総務部、進路指導部、生活指導部の3分掌長から、進路状況、生活指導の推移、学校説明会などについて直接報告します。忌憚のない意見をいただき、更なる改善を進めていきたい。

### 2. 学校説明会等について

- ・中学生向け学校説明会（7/22、8/5実施）、中学校教員向け学校説明会（7/25実施）の結果について報告。昨年度より、参加者が増えている。後期にも、学校説明会や体験入学を計画しており、中学校訪問、HP等を通して多くの中学生に学校を見てもらえるように工夫していきたい。
- ・中学校訪問の7月、8月の実施結果について報告。訪問で戴いた様々な意見、特に厳しい意見を参考にし、10月からの中学校訪問に活かしていく。

### 3. 就職・進学等について（別紙4）

- ・今年度の求人は9月末現在1482名となり、昨年実績の18%増になっている。
- ・就職希望者は157名おり、9月末現在で一次採用試験合格率は、80%となっている。（昨年一次合格実績：73.9%）

### 4. 資格取得状況について（別紙5）

- ・資格取得件数は、9月末で428件となり昨年（昨年9月実績：484件）より少ないが、1年生の在籍人数が昨年より少なく全員受験の計算技術検定の受験者数が減ったことによる。
- ・後期には、今まで受験者数が少なかった資格も受験希望者が増えており、後期により多くの合格者が出るような指導を行なっていきたい。

### 5. 生徒指導の取り組みについて（別紙6）

- ・この3年間で生徒の雰囲気も良くなってきている。

- ・特に遅刻件数は激減している。平成27年度は平成26年度に比べて28%減少した。28年度についても減少しており、28年7月実績で27年7月の半分になっている。
- ・懲戒指導件数についても減少しており、平成27年度は、平成26年度に比べて34%減少した。H28年度についても更なる減少傾向にある。
- ・次の取り組みとしては、すべての生徒が、よりしっかりと授業を受ける雰囲気づくりに取り組んでいきたい。

## 6. H29年度教科書について（別紙7） 29年度の教科書選定経緯について説明。

## 7. トピックス

### ①本校の状況について

教務関連（生徒在籍）、生活指導関連（遅刻、特別指導）、進路指導関連（就職、進学）資格取得等について昨年度及び本年9月度までの月次推移を報告した。

### ②広報活動等について

中学校向け広報活動の9月度までの実績について説明。

### ③文化祭について（11/20 一般公開）

文化祭の日程、招待チケット制等について説明。

### ④テレビ取材について：ベイコム6/16～30放映について説明。

## 8. 意見交換会（主な意見）

### ○就職指導について

- ・今年度の求人状況が昨年度より活況であることは生徒にとって選択肢が広がりよいことである。
- ・就職する生徒自身が、自分は何をやりたいかをしっかり考えて就職先を選べる指導をさらに進めてほしい。そのために、進路指導部として取り組んでいる教員の会社訪問や生徒の応募前見学を充実させて生徒自身が進路選択をするための情報提供が大切である。
- ・毎年、生徒が就職するリピーターの会社が多いことも大切なことであると考えます。会社訪問などを通して、しっかりした信頼関係のあるリピーターの会社を増やすことも大切である。

### ○生徒指導について

- ・遅刻が半減（7月実績の昨年同時期比）しているのは、素晴らしいことだと思う。生徒指導をはじめとして多くの先生方の熱意を感じ、うれしい思いとともに感謝したい。
- ・遅刻や身だしなみといった学習環境をしっかりと改善することが、学力向上の取り組みにつながってくると思う。

### ○中学校訪問について

- ・生活指導部からの報告のように、遅刻の減少、あいさつの増加など生徒の様子はよくな

っているが、訪問先の中学校の先生のコメントにあるように、西野田に対する印象にギャップ（よくない印象を持っている中学校もある）がある。

- ・地道な活動になるが、中学校訪問や学校説明会、HPなどで現在の西野田の姿をしっかりと伝え、中学生、保護者、中学校の教員に理解者を増やすことが大切である。

#### ○文化祭について

- ・工科高校らしい、ものづくりに関する出展が少なく、残念である。
- ・たとえば、小学生向けのものづくり教室を開き、生徒が指導する取り組みをしてみてもどうか。

以 上